

① 【共通科目】

令和7年度 シラバス

岐阜県立池田高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	年次	3年次	単位数	4
教科書	新編 数学Ⅲ		副教材	新課程 基本と演習テーマ数学Ⅲ			

1 科目の目標

極限、微分法、積分法について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習について

- ① 授業の持ち物について : 教科書、問題集、ノート
- ② 予習の仕方について : 前もって、次回授業の教科書2頁程度を読んでおきましょう。
- ③ 授業の受け方について : <授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。>
- ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。
- イ 教科書の練習問題は、自分の力で解くように心がけましょう。また、先生の解答で必ず答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にしましょう。
- ④ 家庭学習の仕方について : <家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。>
- ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみましょう。その際、公式や重要事項等は、もう一度ノートに書き写してみましょう。
- イ 宿題(問題集)は、出された当日に必ず自分の力で専用ノートに解答し、答え合わせをしておくようにしましょう。
- ウ 宿題(週末課題)は、週末土日課題ですので、必ず自分で解いて答え合わせをして週明けの最初の授業に提出しましょう。

3 学習計画

考查		単元名(学習項目)	学習内容(ねらい)
前期	前期 中間	・微分法 (課題学習)	・微分法について、数学的活動を通して、その有用性を理解する。 ・履修内容を生活と関連付け課題を設け SDGs と関連づけながら、生徒の主体的な学習をとして、数学的に考える能力を高める。
	前期 期末	・積分法 (課題学習)	・積分法について、数学的活動を通して、その有用性を理解する。 ・履修内容を生活と関連付け課題を設け SDGs と関連づけながら、生徒の主体的な学習をとして、数学的に考える能力を高める
後期	後期 中間	・実践演習	・数学Ⅲだけではなく、高校で履修した数学の知識・能力を使い、具体的な事象を解決する。
	学年 末	・実践演習	・数学Ⅲだけではなく、高校で履修した数学の知識・能力を使い、具体的な事象を解決する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学的活動を通して、グラフの作成や面積・体積などを求めることができる。	関数の式を多面的にみるができる。微分と積分の関係を理解して、問題を解決することができる。	週末課題の提出状況および課題学習の主体的な取り組み状況で評価する。

5 評価方法

計140時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、定期考查・課題考查・授業内小テストの成績、課題学習におけるパフォーマンス評価、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%

